

会 議 報 告 書

会 議 日 時	令和 7 年 5 月 29 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 20 分
会 場	総合福祉センター（大会議室）
会 議 内 容	令和 7 年度第 1 回大船渡市健康づくり推進協議会
出 席 者	健康づくり推進協議会委員 9 名 ※欠席：柴田繁啓委員、佐々木博子委員、熊谷侑希委員 藤原保健福祉部長 健康推進課：藤田課長、藤原課長補佐、岡崎係長、小松係長

会 議 内 容

1 開会

職員紹介

2 あいさつ（畠山会長、藤原保健福祉部長）

3 議事（事務局から資料により説明。その後質疑を行った。）

（1）令和 6 年度保健事業の実施状況について・・・承認

（飯田委員）

現在、高齢者の方の口腔機能が低下していると言われている。訪問指導で基本的な口腔ケアについてしっかり伝えることは重要である。

（木村委員）

林野火災における高校生ボランティアの支援活動はどのようなものであったか。

（山崎委員）

ボランティアセンターを立ち上げた当初、大船渡高校生徒会が生徒へ呼びかけをし、賛同をした生徒が集まった。社会福祉協議会側からの働きかけはなく自主的なものだった。入試の期間であり生徒が学校へ登校できないタイミングのためボランティア活動の参加が多くあり、物資の整理をご協力頂いた。

（2）令和 7 年度保健事業の実施計画（案）について・・・承認

（木村委員）

带状疱疹の予防接種助成について、テレビCMでも带状疱疹の病気やワクチンの必要性について流れている。私自身、勤務先で高齢者の方々から带状疱疹はどのような病気なのか、どのようなことに気をつけたら良いのかなど質問が多い状況である。市では带状疱疹の病気やワクチンについて、パンフレットなどの用意はされているのか伺いたい。

(事務局)

対象者には、個別通知にて受診券等を送付している。また、封書の中には厚生労働省で通知しているパンフレットと注意点について同封している。その他に、医療機関へはリーフレットを配布しているが、周知方法を検討していきたい。

(山崎委員)

(P 6) 基本施策 2 の身体活動・運動の普及について、社会福祉協議会が管理している Y S センターを上手く活用して頂きたい。その後、利用者さんの意思で継続して利用して頂ければなお良いと思う。

(白崎委員)

スポーツ施設が市内には沢山ある。平日のこの時間帯の利用の稼働率が悪いので、色々な仕掛けはするが、興味がなくて来ないのか、企画しているものが悪くて利用しないのか、場所が限られているのでその場所まで来ないのかという所もある。スポーツ協会としては空いている場所を利用して頂きたいが、なかなか人が集まらないというのが現状のため、来たい方が、来られるような支援を含めることが出来れば、より良い生活ができるのではないかなと思う。

高齢者に限らず、今、中学校の(部活動)地域移行などなかなか送迎が厳しい状況である。移動手段がない方々に、いかにその場所へ来て頂くかが課題になっている。本人は、「やりたいが行けない」、スポーツ協会側は「来てほしい」というのがあるので、交通費の補助まではいかないが、運動する場所に足を運ぶきっかけ作りのプランがあれば良いのかなと思う。

(鳥羽委員)

膝痛や腰痛で受診される方には、最適な運動や注意する動きなどについてアドバイスはしているが、受診時でないと説明できない部分がある。もっと、広く周知する方法があれば良いのかもしれない。

(千葉委員)

基本施策 6 のがん検診の内容について、ここ数年の受診率はほぼ同率であり、昨年度は、受診しない大きな理由の聞き取りの実施と、対応策として個人医院や受診機関との協力体制をとったとの説明であった。

可能であれば、市で各種検診が実施される 2 ～ 3 か月程前に周知強化月間のような形を検討して頂き、リーフレットなどを病院や薬局に配付し、窓口で声かけを通して患者本人に検診等の受診を考えて頂くなどしてはどうか。

(事務局)

取り組んでいきたい。

(藤原委員)

たばこ・飲酒対策の中で禁煙のススメ運動とあるが、タバコを吸っている方にタバコを止めてください。と伝えても止めない。パンフレットなどを使用して、禁煙の方向へうまくもっていけるような方法があったらいいなと思う。

(事務局)

当市は、喫煙率が高い。資料に記載されている通り、禁煙サポートや禁煙教室を実施しているが参加者が少ない状況。保健指導の対象者にも喫煙されている方や禁煙の意思のない方もいる。その方自身の禁煙のタイミングがそれぞれある。市として、健診受診時や保健指導の度に、禁煙の意思がないかもしれないが今後も「声かけ」は着実に行っていきたい。また、広く禁煙を勧められるよう取り組んでいきたい。

(木村委員)

NHKのトリセツショーという番組で、がん検診受診率を上げる対策としてパンフレットを工夫したという話があったが、例えば、市として去年のパンフレットを変更し工夫することなどは考えているのか。

(事務局)

前回のパンフレット等を参考に、目にしやすい物を担当者と一緒に取り組んでいきたい。

(木村委員)

薬局などにもパンフレットを置いていただきたい。対象者には封筒の中にパンフレットが入っていたので、私自身は「以前とは、変わったな」と気付いた。しかし、それが周知されているかどうか。医療機関や薬局にパンフレットがあれば、医師等はより良い説明がしやすいのではないかと思う。

(田村委員)

フレイル予防の普及について、フレイルという言葉が伝わりづらい。市では、フレイルという言葉の普及のために工夫を考えているのか。また、具体的に、もっと分かりやすくインパクトがあるものが欲しいと思う。

(事務局)

地域の健康教室を行う際、フレイルについて触れることがあるが、地域へ出向く回数が少ないので、市全域への普及が難しい状況である。色々な場面を捉えて「フレイル」について、市全域へ普及させていきたい。

(鳥羽委員)

フレイルだけでは内容が分かりづらいので、「フレイル ロコモ」という言葉をセットにして、整形外科学会や手術をする際は、周知している。ロコモは興味を持つ取っ掛かりになるので参考にして頂ければと思う。

(3) その他

事務局から、今年度に「新型インフルエンザ行動計画」の改定を予定していることと、林野火災における被災地域の方へ実施した健康状態調査の概要について報告した。

4. 閉会